

浪江町

～第一次浪江町復興計画(H24.10)～

大熊町

～第一次大熊町復興計画(H24.9)～

富岡町

～第一次富岡町災害復興計画(H24.9)～

目的／位置づけ

- 不十分な仮設住宅での生活の改善、分散するコミュニティへの対応
- 一定期間要するふるさとの再生
- ふるさとでの生活再開・次なる生活拠点までの住まいの確保



仮設住宅の入居期限(H26.3)を目途に災害公営住宅を中心とした「町外コミュニティ」を早急に整備する必要

- ふるさとへの帰町までの過程を3段階(短期・中期・長期)に分け、中期的取組として、「町外拠点(町指定地)」を設置することにより、安心感のある暮らしの実現を目指す

(※) 第一次復興計画では、町外コミュニティの詳細は盛り込まれておらず、今後設置場所を決定した場合に、第二次復興計画に盛り込むとしている。

- 今の生活不安の軽減、安心して帰りたくなる環境の整備
- 当面帰還できない町民の心身の健康を守り、生活を再建



「富岡町サテライト計画」～3つの富岡づくり～

(※) 様々な地域に分散した町民に、今後可能な限り、3つの地域(①町内低線量地区、②いわき市、③郡山市)に集合し、帰還までの生活拠点としてもらうための計画

概要／イメージ(参考図)

<短期(～H26.3)>

◆ 町外コミュニティの整備

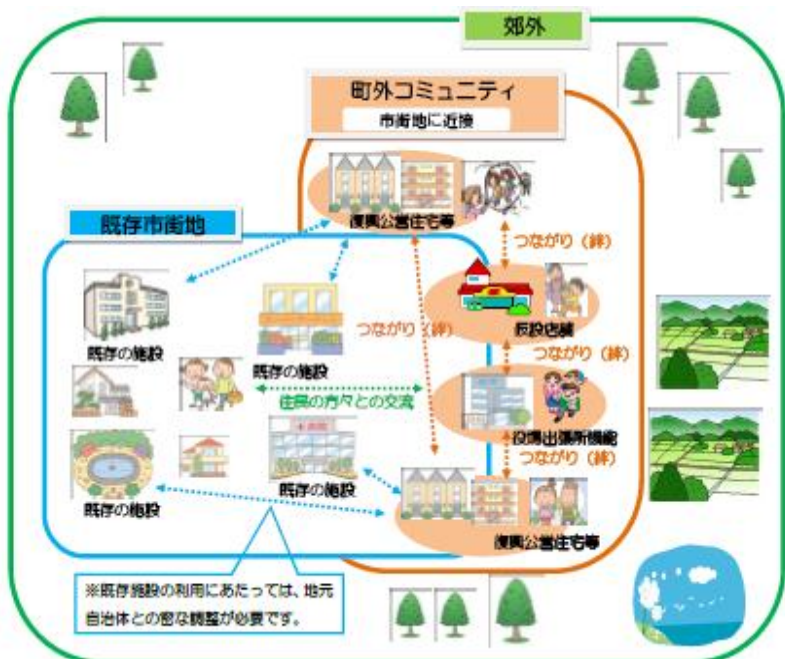
- ・町外コミュニティを整備する場所の決定
- ・町外コミュニティの整備内容の整理
- ・町外コミュニティの居住希望世帯数・人数の把握
- ・候補自治体(※)との協議
- ・国、県、避難自治体との協議

(※) 町民アンケートでは、いわき市(38.3%)、南相馬市(33.7%)、二本松市(9.6%)などを希望

<中期(～H29.3)>

◆ 町外コミュニティの充実

…絆づくり、医療・福祉、教育、事業再開支援等の機能の充実を図り、居住者の生活の安定を実現



<短期(～H27年頃)>

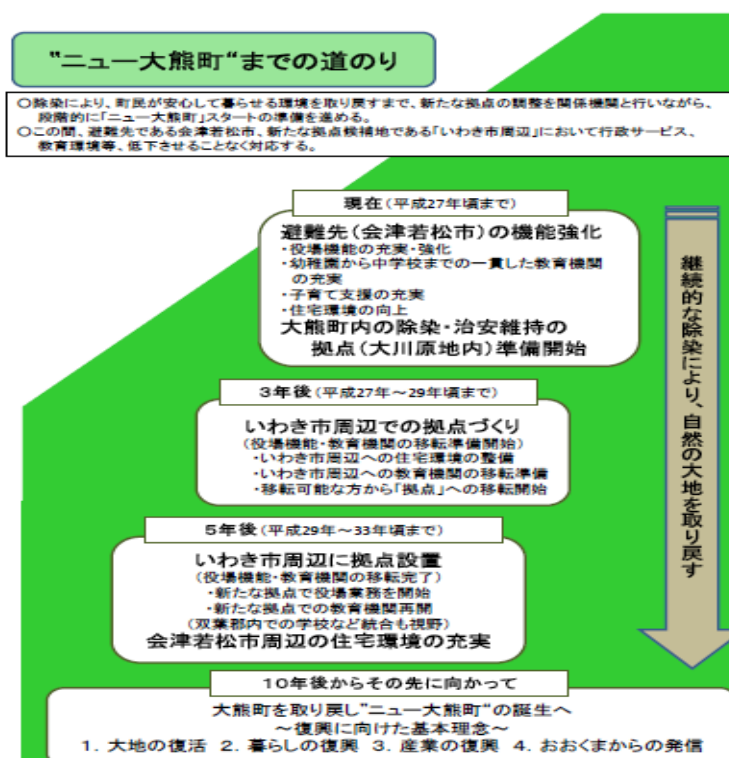
◆ 現避難先(会津若松市)の機能強化

◆ 大熊町内(大川原地区)での除染・治安維持の拠点設置

<中期(～H29年頃)>

◆ いわき市周辺に新たな拠点(町指定地)の設置

…役場機能・教育機関を移転し、病院・福祉施設、長期間居住できる住宅等必要な施設を順次整備。住宅環境が整い次第、移転できる方から移転開始。



<復旧期(H24～H28年度)>

…町外生活環境や1日でも早く町内に帰還できる区域の整備の為、除染・インフラ復旧・公営住宅等を重点的に実施。

◆ 町外生活拠点「つつじ富岡(いわき)」、「せきれい富岡(郡山)」の形成【整備目標:H26年度末】

…当面帰還できない町民のための生活拠点(重点事業)

- ・インフラ整備(災害公営住宅、小中学校の建設等)
- ・健康管理(医療、介護・福祉施設の整備等)
- ・絆づくり(情報提供・交流の場整備等)

◆ 町内生活拠点「さくら富岡(低線量地区)」の形成【整備目標:H28年度末】

…帰還基盤形成のための町内復興拠点(重点事業)

- ・除染推進、インフラ復旧(被災交通網、ライフライン施設等)
- ・雇用確保(産業特区、研究機関誘致、農林漁業再生等)
- ・健康管理、絆づくり 等

